

地井昭夫先生追悼 10 年記念パネルディスカッション

～今の事態を地井先生はどう見ておられるだろうか～ “農山漁村へのまなざし、都市への思い…”

地井昭夫先生は、建築家・吉坂隆正（1917－1980）に師事し、早稲田大学在学中より伊豆大島の復興計画を手がけ、「発見的手法」を主唱するとともに、当時はあまり知られていなかった船小屋の漁村集落（丹後・伊根浦）に魅せられ、漁村の空間・社会の研究を精力的に行われました。また、広島工業大学、金沢大学、広島大学、広島国際大学で教鞭を執られ、その間、漁村計画研究所及び漁村研究会を発足させ、全国各地の漁村計画、漁村の環境改善などに関する研究と提案をなされました。

本事業は、こうした地井昭夫先生を偲び、没後 10 年の追悼記念として行うものです。

内容としては、報告（地井先生の足跡・まなざし等）とパネルディスカッション、意見交換・フリートークにより、地井先生の建築や中国地域における地域計画、学会活動へのまなざし、そして九州地域との関わりなどを取り上げながら、先生は農山漁村や都市の“今”をどのように見ておられるかを考え、“これから”のヒントを探るものです。

主 催：（一社）日本建築学会中国支部 農村計画委員会

後 援：（公社）日本都市計画学会中国四国支部（予定）

日 時：7 月 9 日（土）13：30～16：30

会 場：合人社ウエンディひと・まちプラザ 研修室 C（広島市中区袋町 6-36）

参加費：無料

問合先・申込先：山下和也（地域計画工房）k-yamashita@chiikikb.co.jp